

延原武春 指揮

テレマン室内オーケストラ

バロック・アラカルト



兵庫県立
芸術文化センター

Baroque à la carte

J.S.バッハ J. S. Bach

フルートのためのパルティータ イ短調 BWV1013【フルート・ソロ】

Partita in A minor, BWV1013 (Flute solo)

半音階的幻想曲とフーガ ニ短調 BWV903【チェンバロ・ソロ】

Chromatic Fantasia and Fugue in D minor, BWV903 (Harpsichord solo)

G.F.ヘンデル G. F. Händel

組曲「調子の良い鍛冶屋」ホ長調 HWV430【チェンバロ・ソロ】

Suite in E major, HWV430 (Harpsichord solo)

トランペットと弦楽のための組曲 ニ長調 HWV341

Suite in D major, HWV341

G.Ph.テレマン G. Ph. Telemann

組曲 ニ長調 TWV55:D18 (抜粋)

Suite in D major, TWV55:D18 (Excerpt)

ヴァイオリン協奏曲「蛙」イ長調 TWV51:A4

Violin Concerto in A major "Die Relinge", TWV51:A4

食卓の音楽より

「フルート、ヴァイオリン、チェロのための三重協奏曲」イ長調 TWV53:A2

Concerto for flute, violin, cello, strings & continuo in A major (Tafelmusik I/3), TWV 53:A2

〈指揮〉延原武春

〈チェンバロ〉
高田泰治

〈ヴァイオリン〉
浅井咲乃

〈管弦楽〉テレマン室内オーケストラ

2021. **3/4** (木)

2:00 PM 開演 (1:15 PM 開場)
A ¥4,000 B ¥3,000 (税込/全席指定)

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

12/10(木)
発売

チケット
取扱い
お問合せ

芸術文化センターチケットオフィス ☎ 0798-68-0255 (10:00 AM-5:00 PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

インターネット予約 ▶ <http://www.gcenter-hyogo.jp>

窓口での販売(残席がある場合)は12/11(金)より 主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

関西から
文化力

〈チケットご購入のお客様へ お願い〉 新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします。

※芸術文化センターでのご購入時には、来場者情報把握のため、先行予約会員(無料)へのご登録をお願いしております。なお、お一人様2枚までとさせていただきます。
※入場者数を制限して販売する場合があります。※37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。
※マスクを着用されない方はご入場いただけません。(マウスシールド不可) ※感染の再拡大等により、公演の中止や、公演内容、座席配置等が変更となる場合がございます。
※未就学児童のご入場はご遠慮ください。



ご来場前にウェブサイト掲載の
〈当センターをご利用のお客様へ〉を
ご確認くださいませようお願いします。

美味しいバロック召し上がれ!

バロック音楽の演奏を柱に独自のスタイルを築き上げて来た、延原武春&テレマン室内オーケストラ。今回はバロック音楽の巨匠たち3名の作品の美味しいところをアラカルトでお届けします。

チェンバロ、フルートのソロ、トランペットの組曲では、各奏者の技巧と音色の魅力をたっぷり。そして今回のメインは生涯に4000曲以上を作曲したとされるテレマンの作品。ヴァイオリンによってコミカルな蛙の様子と自然の情景が描かれる「蛙」は隠れた名曲。食卓の音楽(ターフェルムジーク)と呼ばれる「三重協奏曲」はその名の通り、祝宴や饗宴で演奏されることを目的とした音楽形式のことです。旋律をフルート、ヴァイオリン、チェロが受け渡していく様は、まるで楽しい語らいのよう。当時の貴族たちと同じように優雅で洗練されたバロック音楽を聴きながら、午後のひとときをお過ごしください。

〈指揮〉延原武春

TAKEHARU NOBUHARA, Conductor



18世紀音楽を専門とする指揮者・オーボエ奏者。1963年に日本テレマン協会の前身であるテレマン・アンサンブルを創設。彼らを率いて「文化庁芸術祭・優秀賞」(関西初)・「第17回サントリー音楽賞」等を受賞。1982年、初演当時の編成とベートーヴェンの指定したテンポで「第九」を演奏(世界初)。2008年にはベートーヴェンの交響曲全曲を、作曲者指定のテンポとクラシカル楽器を使用して指揮。この公演が引き金となってドイツ連邦共和国より「功労勲章功労十字小綬章」が贈られた。

〈チェンバロ〉高田泰治

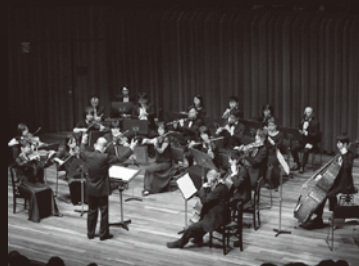
TAIJI TAKATA, Harpsichord



2002年神戸新聞松方ホールにてテレマン室内オーケストラとともにピアノ、フォルテピアノ、チェンバロのそれぞれの協奏曲を一夜で演奏するという公演にてデビュー。2010年にはNHK「クラシック倶楽部」にてモーツァルト作曲ピアノ協奏曲第12番をフォルテピアノで好演し話題となる。2011年5月にはバッハ研究の最高機関「バッハ・アルヒーフ」の定期演奏会に招聘される。現在はバロック・ヴァイオリンのU.ブンディースとデュオを結成しドイツでも演奏活動を展開中。平成23年度坂井時忠音楽賞、平成28年度咲くやこの花賞音楽部門を受賞。

〈演奏〉テレマン室内オーケストラ

Telemann Chamber Orchestra



1963年に指揮者・延原武春が結成。延原の指揮のもとテレマン作曲「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」等数々の作品を本邦初演。「第17回サントリー音楽賞」(現在もテレマンと東京交響楽団、京都市交響楽団以外のプロオーケストラは受賞していない)を受賞した日本初のプロオーケストラでもある。そのほかの主な受賞歴は、「大阪文化祭賞」、「音楽クリティッククラブ賞」、「大阪府民劇場賞」、「文化庁芸術祭優秀賞」(関西初)等。

1990年バロック・ヴァイオリンのサイモン・スタンデイジをミュージック・アドバイザーとし、バロック楽器(18世紀当時の楽器およびそのレプリカ)による演奏を始める。2003年にはドイツのバッハ・アルヒーフから招聘を受け「バッハ・フェスティバル」に出演し、C.P.E.バッハ「チェンバロ協奏曲Wq1」を世界初演した。

2006年からはクラシカル楽器(古典派の時代に使用された楽器およびそのレプリカ)による演奏を始め、2007年には同楽器によるF.J.ハイドンのオラトリオ「四季」を好演。「大阪文化祭賞グランプリ」を受賞した。

2012年にはドイツよりバロック・ヴァイオリン奏者ウラ・ブンディース氏を首席客演コンサートマスターとして迎えた。

<http://www.gccenter-hyogo.jp>
兵庫県立芸術文化センター
 Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら



便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からもホールまで15分

(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

